



議会だより

No. 90

発行日 2022年(令和4年)5月1日
発行 丸亀市議会
編集 広報広聴委員会
TEL(24)8828
市ホームページ
<http://www.city.marugame.lg.jp/>



1月臨時会

1月21日

3月定例会

2月28日~3月25日

主な内容

- 特集 新年度予算…… 2
- 臨時会・定例会…… 4
- 代表質問…… 6
- 総括質疑……10
- 議会の動き……15
- 委員会審査・質疑……16
- 決議・議員研修……17
- 審議結果……18

議会だよりは資源保護のため、再生紙を使用しています。

Q 私立認可保育園の施設整備

特定の社会福祉法人への補助が公平性を欠いていないか。



- A**
- 福祉法人の助成に関する条例に基づき、市単独の補助を行う。
 - 他の園の大規模修繕に係る補助金も計上。公平性は確保されている。

Q 敬老祝金

過去に廃止した経緯があるが、復活させる理由と効果は。

- A**
- 廃止後、多くの市民の声をきき、明るく元気なまちづくりに必要であると感じ、復活するに至った。



Q ボートレース事業

本市独自のギャンブル依存症対策は。



- A**
- 独自ではないが、ホームページでの啓発やギャンブル依存症の相談対応など、業界全体での取り組みを続けていく。

Q ごみ収集運搬業務委託料

今後の廃プラスチック処理に関する、近隣市町との協議は。



- A**
- 近隣市町と連携して、分別回収に取り組んでいきたい。
 - 現在、県のブロック会議の設置を待っている状況である。

Q 図書館

中央・綾歌・飯山の3館の連携は。

- A**
- 委託先の福祉事業団と事務調整や情報共有を図りながら、3館で連携した取り組みを行っている。



討 論

反対《理由》

横川 重行

- 敬老祝金よりも、高齢者の外出支援や経費補助を。
- 特定の社会福祉法人の助成が、整合性と公平性に欠くのではないか。

中谷真裕美

- マルタスの指定管理料が不透明であり精査できない。
- マイナンバーカードに対する市民の不安に目を向けるべき。
- 人権問題活動推進委託料は、多様な人権課題に対応した委託料であるべき。
- 民間委託に関し、政策的根拠が検証されていない。
- ボートレース事業は、独自のギャンブル依存症対策を行うべき。

賛成《理由》

横田 隼人

- 市が高齢者に敬意と祝意を表す祝金は、今の丸亀に必要な事業である。
- 社会福祉法人への助成は、条例に基づいて行う正当な助成である。
- 道路、子育て施設、通学路の整備等、将来の安心・安全につながる予算編成である。

特集

議会から見た令和4年度予算

厳しくチェック!!

市長が市政方針を表明。

この1年のまちづくりが

3月議会で決められています。

一般会計

539億円

論点
1

調理等の民間委託

職員数や配置の問題に起因する民間委託だが、アレルギー対応給食の充実や安全性の向上が図れるのか。



答え

民間委託により専門性が高まり、学校給食の充実につながると期待できる。

論点
2

市民協働

マルタス開館から1年。これまでの成果と今後の展望は。



答え

累計入館者数が1月末現在で50万2555人、市民活動支援カウンターでは996件の相談があった。また、マルタスでは新たな活動の登録を行っており、今後の市民活動への芽生えと捉えている。

論点
3

マイナポイント

健康保険証としての利用やポイント付与によって、利用者の増加が予想されるが、どのように進めていくのか。健康保険証として利用できる市内医療機関が少ないことで、市民が混乱するのでは。



答え

専用ブースを設け、マイナンバーカード交付からポイント付与までを一連で行い、併せて利用可能な医療機関を周知したい。

1月臨時会

● 21日

- ・ 議案第1号
- 提案理由の説明・質疑・討論・採決

1月臨時会 議案の内容

- ▼ 議案第1号 一般会計補正予算(第10号)
- 歳入歳出それぞれ19億8132万8千円を増額し、総額を616億3227万2千円とする。

3月定例会

2月28日～3月25日
(26日間)

- 2月28日
- ・ 議案第2号～16号
(旧年度関係議案)
- 提案理由の説明・質疑・討論・採決

3月定例会 議案の内容

令和3年度関係議案

- ▼ 議案第2号 一般会計補正予算(第11号)
- ▼ 議案第3号 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ▼ 議案第4号 国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第5号 駐車場特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第6号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第7号 介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ▼ 議案第8号 介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第9号 下水道事業会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第10号 モーターボート競走事業会計補正予算(第4号)
- ▼ 議案第11号 職員の給与に関する条例の一部改正
- ▼ 議案第12号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正(11、12号)

保育士、幼稚園教諭、保育教諭等の処遇改善のため、改正を行う。

▼ 議案第13号 工事請負変更契約の締結(現市役所本館・別館他解体工事)

土壌汚染調査に伴う工期変更や工事範囲の縮小等による契約金額の減額について、議会の議決を求める(3069万円減額)。

▼ 議案第14号 工事請負変更契約の締結(丸亀城帯曲輪石垣解体等工事)

崩落土撤去や石垣解体の増工による契約金額の増額について、議会の議決を求める(6537万3千円増額)。

▼ 議案第15号 工事請負契約の締結(丸亀城帯曲輪石垣解体等(その2)工事)

鹿島建設株式会社四国支店と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼ 議案第16号 市道路線の変更及び認定

山北町土器1号線ほか12路線を市道として認定するなど。

▼ 議案第17号 一般会計予算

▼ 議案第18号 国民健康保険特別会計予算

▼ 議案第19号 国民健康保険診療所特別会計予算

▼ 議案第20号 駐車場特別会計予算

▼ 議案第21号 後期高齢者医療特別会計予算

▼ 議案第22号 介護保険特別会計予算

▼ 議案第23号 介護保険サービス事業特別会計予算

▼ 議案第24号 下水道事業会計予算

▼ 議案第25号 モーターボート競走事業会計予算

▼ 議案第26号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正

▼ 議案第27号 会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正(26、27号)

育児休業や介護休暇等の取得要件について、改正を行う。

▼ 議案第28号 職員の給与に関する条例の一部改正

▼ 議案第29号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

▼ 議案第30号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部

▼ 議案第30号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部

- ・議案第17号～50号
(新年度関係議案)
 〓 提案理由の説明
 ・予算特別委員会

- 3月2日
 ・代表質問 (志政会、市民クラブ、真誠会)

- 3日
 ・代表質問 (公明党)
 ・総括質疑

- 4、7日
 ・総括質疑

- 9日
 ・都市環境委員会
 ・教育民生委員会

- 10日
 ・総務委員会

- 11、14、15、16、17日
 ・予算特別委員会

- 25日
 ・議案第17号～50号
 〓 委員長報告・討論・採決
 ・諮問第1号
 〓 提案理由の説明・質疑・討論・採決

改正

▼議案第31号 モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正

▼議案第32号 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
(28～32号)

▼議案第33号 行政手続における押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定
 届出等の押印義務を見直すため、所要の改正を行う。

▼議案第34号 片岡給付型奨学金基金条例の制定
 片岡政隆氏の寄附による株式の配当金等をもって、片岡給付型奨学金基金を設置する。

▼議案第35号 国民健康保険税条例の一部改正
 地方税法の改正に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第36号 敬老祝金支給条例の一部改正
 敬老祝金の支給対象者を拡充するため、所要の改正を行う。

▼議案第37号 体育施設設置条例の一部改正
 市民体育館第一トレーニング

室冷暖房使用料の設定とアリーナ施設の名称統一のため、所要の改正を行う。

▼議案第38号 附属機関設置条例の一部改正
 地域公共交通活性化協議会、市庁舎等複合施設整備検討専門委員会、都市再生協議会について、所要の改正を行う。

▼議案第39号 市営住宅設置及び管理条例の一部改正
 更新住宅の建設や上分団地の用途廃止に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第40号 下水道条例の一部改正
 下水道の使用料改定のため、所要の改正を行う。

▼議案第41号 文化振興条例の一部改正
 文化芸術振興基本法が文化芸術基本法に改正された趣旨に沿い、条例の一部を改正する。

▼議案第42号 放課後留守家庭児童会条例の一部改正
 城坤青い鳥教室の改築と城南青い鳥教室の移築などに伴い、所要の改正を行う。

▼議案第43号 市立学校条例の一部改正
 西幼稚園の移転に伴い、所要

の改正を行う。

▼議案第44号 保育所条例の一部改正
 中央保育所の移転に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第45号 保育士修学資金等貸付条例の制定
 市内で保育士として勤務する意思のある者の修学及び就職を支援し、保育士の確保を図るため、条例を制定する。

▼議案第46号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
 消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第47号 善通寺市との定住自立圏形成協定の變更
 ▼議案第48号 琴平町との定住自立圏形成協定の變更

▼議案第49号 多度津町との定住自立圏形成協定の變更
 ▼議案第50号 まんのう町との定住自立圏形成協定の變更
(47～50号)

国の定住自立圏構想推進要綱に基づき、定住自立圏の形成に関する協定書の一部変更について、議会の議決を求める。

▼諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦

補者の推薦

代表質問

志政会

質問者

横田隼人



会派メンバー

東	由美・廣田	勝也
武田	孝三・香川	勝
川田	匡文・真鍋	順穂
横田	隼人・山本	直久
大前	誠治	

代表質問

ボートレースまるがめ

Q

電話投票、本場での売上げなど、

状況が大きく変化していると思われるが、現状と今後の見込みは。

A

モーターボート競走事業管

理者 本場、電話投票協力場の売上構成比率は、ナイターレース開催前の平成20年度と比較すると、本場が約30%から2%、電話投票が約20%から81%、協力場が約50%から17%と大きく変わっている。



水上の格闘技 大迫力のレース

また、今年度は悪天候や感染症拡大による開催中止等があったが、これまでで最高の売

上げだった昨年度を上回る状況で推移しており、収益も僅かながら上回ると見込んでいる。令和4年度の売り上げは、プレミアムGI、レディ

ースチャンピオンの開催とコロナ収束後の消費分散を想定し、総売上げで1250億円、収益で約86億円、令和5年度以降は約1200億円の売上げ、約80億円の収益を見込みとしている。

教育環境の充実

Q

教育環境の向上と災害時避難所の環境整備のため、学校体育館にエアコンを設置してはどうか。また、少子化対策、子育て支援として学校給食の無償化を実施すべきと考えるが、市の考えは。

A

教育部長 学校体育館のエアコン設置には、

およそ9億2千万〜16億1千万円の設置費用のほか、1施設当たり年間100〜200万円程度の維持管理費や定期的な更新費用が必要となる。一方、学校活動での使用頻度は低く、避難者の生活環境確

保の観点でも、災害時協定等を活用した冷暖房機器の借用が可能であるため、費用対効果等を考慮し、慎重に方針を決定する。学校給食の無償化は、幼児保育も含めて年間約6億5千万円の財源が必要となることから、慎重に検討したい。

市民会館整備のスケジュール

Q

工事入札の不調などによる開館遅延が危惧されるが、市場価格の調査や入札参加資格などの検討は十分に行われているか。今後のスケジュールは。

A

産業文化部長 昨今の世界的な原材料の高騰や品薄の実態、建設業界の人手不足等も考慮し、工事に係る積算や工期設定など、市場の実情を念に調査検討して

いく。なお、現段階では、当初の予定どおり7月末をめどに実施設計をまとめ、その後、入札や仮契約など準備期間を経て、令和5年1月着工、令和7年4月開館を目指して取り組んでいる。

新年度の市政を問う!

市民クラブ



質問者

横川 重行

会派メンバー

渡邊 一馬・守家 英明
角野 仁美・横川 重行
加藤 正員・大西 浩



自主財源の確保



財政のひっ迫が懸念される昨今、行政運営の効率化やコスト削減を進めるとともに、健全で安定した財政基盤の確立が求められる。自主財源比率の目標と、滞納繰越分徴収の方法と目標は。



総務部長 本市の自主財源比率は、モーターボート競走事業会計からの繰入れの影響で、例年よりも高い比率となっている。市税では、令和4年度からキャッシュレス決済を導入することで、現年徴収率の向上を図るとともに、徴収体制を強化し、滞納繰越額のさらなる縮

減を図ることを目標としている。税外債権では、定期的な催告書送付と、高額滞納者への滞納処分、裁判所を通じた強制徴収等により、未収額を前年度よりも減額することを目指す。

職員の定数管理



緊急出動体制の充実や待機児童解消のため、職員の定数適正化計画を見直すべきと考えるが、消防吏員、保育士の退職者数と採用者数、離職

防止対策は。



市長公室長 消防吏員は、退職予定者が6名、採用予定者が5名であり、採用数の平準化を図って採用を行っている。また、保育士、幼稚園教諭は退職者が11名、採用予定者が7名で、待機児童の解消を目指し、クラス数を考慮しながら採用を行っている。離職防止対策としては、新規採用者対象の健康相談やメンタルヘルスケア、所属長との面談等のほか、特に、離職率の高い保育



子どもたちの笑顔がいちばんの活力

学校でのワクチン対策



コロナワクチンに関する子どもたちへの正しい知識の啓発や学校内での感染防止について、市の考えは。



教育長 本市健康課からワクチン接種券を送付する際、啓発資料を添付し、周知に努めている。また、接種の有無によるいじめや差別が起きないように、個々の接種状況は、個人情報として十分に配慮することを教職員にも指導している。なお、学校では、基本的な対策を徹底するとともに、感染拡大の状況を考慮し、長時間、近距離で対面形式になる活動の原則中止や部活動の全面禁止など、感染症対策に取り組んでいる。

代表質問

真誠会

代表質問



質問者

多田 光廣

会派メンバー

竹田 英司・三宅 真弓
多田 光廣



学校の施設改善

Q 市内の小中学校で、トイレが老朽化していたり、環境が悪かったりする。教育環境を改善していく中で、毎日の生活に不可欠なトイレ改修はどうなっているのか。今後の整備計画は。

A 教育部長 市内小・中学校校舎の児童・生徒用トイレのうち、過去に改築や大規模なトイレ改修を行い、洋式化、乾式化が全面的、または一部でもできている学校が小学校9校、中学校2校ある。また、一部のトイレを洋式化しただけの学校が小学校8校、中学校4校あり、一部のトイレを洋式化し

公園の整備

ただけの学校のうち、早期改善が望ましい学校2校については、長寿命化改修に先行して大規模改修を行う予定である。その他の学校については、長寿命化改修の時期を勘案しながら、必要に応じて大規模改修を行いたい。

Q 飯山南地区と郡家地区で公園整備が予定されている。東汐入川けんこう公園など大きい公園はいくらかあるが、地域の身近な公園整備について、どのような計画があるか。

A 都市整備部長 飯山南地区で令和5年度の開園を目指して公



気軽に遊べる 身近な公園を

園整備を進めるほか、令和4年度は、郡家地区での用地取得や地元コミュニティとの整備構想づくりに着手することとしている。市では、こうした身近な公園が不足するエリアでの公園整備を進めていくため、まず1人当たりの公園面積が少ない地域を優先的に整備すること、また整備場所として、地域コミュニティと協力して継続的に活用できる場所を基本とすることなどを方針としている。今後は、子育てしやすく、憩いと潤いのある市民生活の充実を図るため、地域の要望やニーズを

把握しながら、着実に公園整備を進めていきたい。

相続財産管理人制度と空き家対策

Q 空き家の所有者の死亡後、相続人が不存在となるケースがあるが、相続財産管理人制度を利用すれば解決できるのではないか。制度内容の詳細と、今後の取り組みにどう生かしていくか、市の考えは。

A 都市整備部長 この裁判所に財産管理人の選任を申し立てることで、財産を管理する者がいない状況を解消するものであり、事案によっては、適切な管理や売却、その他の活用につながるなど、停滞した状況の打開が期待される。今後も所有者等が不明なもののうち緊急性の高いケースでは、略式代執行の手法を取り入れる一方、急を要しないケースでは、財産管理人制度を活用するなど、適切な手法を選択しながら取り組んでいきたい。

会派を代表する議員が、市長の市政方針、新年度予算、その他市政全般に関して質問を行っています。

公明党



質問者

内田 俊英



会派メンバー

福部 正人・内田 俊英

「市民を味方にする」マルタス



交流という言葉には主体性がない。主語がない。この言葉が、行政から主体性を奪っているのではないか。マルタスが市民との協働の拠点となるための戦略は。



市民生活部長 市では、交流を第1のステップと捉えている。2年目は、一人でも多くの来館者が次のステップに進めるような取り組みが求められると考えているため、新設した市民活動登録制度や相談機能の充実を図り、登録団体主催あるいはマルタス



マルタスのミッションは“人づくり”

との共催による多種多様な活動を実施していくほか、マルタスの集客力を生かした見え

「市民でにぎわつ」えきキタづくり



道路脇にパークレットを設置する取り組みが発表された。産学官民連携による大変楽しみな試みだが、設置するだけにとどまらず、えきキタ開発の一環としてしっかりと位置づけるための、市の考えは。



都市整備部長 国は、まちなかのにぎわい創出として、歩行者が居心地よく歩きたくなるウォークブルなまちづくりを推進しており、パークレット設置はその取り組みの一つである。瀬戸内国際芸術祭の秋会期中には、パークレット設置と関連イベントの実施による社会実験を予定しており、こうした取り組みを通じ、中心市街地の活性化に向けた駅北地区の可能性を見いだしていきたい。

「市民の財産」

市営住宅のあり方



市営住宅の外国人入居者が増えている。

「市営住宅 住まいのしおり」には基本的な事項のほか、迷惑行為とされる行動や、それに伴うペナルティなどが日本語で書かれているが、入居者にどこまで理解されているのか。ルールの実効性を確保するための市の取り組みは。



都市整備部長 「住まいのしおり」は現在、英語、スペイン語、中国語版を作成中であり、次年度早期には各戸配布する。迷惑行為等の通報を受けた際は、現地確認の後、対象者が特定できる場合には直接面談し、双方の意見を聴取したうえで適切な処置を行う。再三の注意も聞き入れない場合は、退去勧告等も実施している。また、対象が特定できない場合でも、掲示板等で注意や警告を行っている。今後も、入居者の住みよい環境確保に向け、強い姿勢で運営していく。

総括質疑

10人の議員が市政を問う

質問者・項目

太字の項目は
本文中に
要約文を掲載

武田 孝三

- ① 行政のデジタル化
- ② 持続可能な脱炭素社会
- ③ スポーツ振興

角野 仁美

- ① 子どもの虐待防止
- ② 自立支援
- ③ 健康寿命と地域活性化
- ④ 小中学生と運動

廣田 勝也

- ① ゼロカーボンの実現に向けた取り組み

山本 直久

- ① 競艇収益基金
- ② 総合運動公園
- ③ ポールパーク丸亀
- ④ ウォーカーブルなまちづくり、浸水対策
- ⑤ 空き家対策
- ⑥ 観光
- ⑦ 健康

渡邊 一馬

- ① 新型コロナウイルス支援
- ② 子どもの居場所づくり

香川 勝

- ① 食育
- ② 有機農業
- ③ 自然体の防災

守家 英明

- ① 学校教育におけるICT
- ② 高齢者移動手段確保事業

大西 浩

- ① 社会福祉法人
- ② プラスチック分別収集
- ③ 職員の定年引き上げ

水本 徹雄

- ① 水産業者へのコロナ支援
- ② SDGs 推進対策
- ③ 新市民会館

神田 泰孝

- ① 資料館開館50周年事業
- ② 丸亀城かい掘り
- ③ ガードレール等盗難対策
- ④ 市民協働投稿サービス
- ⑤ 成年年齢引き下げ

総括質疑

市役所窓口も キャッシュレスに



武田孝三議員

公共施設や自治体窓口のキャッシュレス化が望まれている。税金や公共料金がいつでも支払えることから、時間や手間、手数料などの節約になるほか、コロナ禍で外出を控える市民ニーズにも応える形で、全国的に普及している。新年度から使用できるキャッシュレス決済の種類と運用、期待される効果は。



利用しやすい窓口

A 総務部長 税務課が収納事務を行っている全税目および介護保険料、後期高齢者医療保険料を対象とし、Pay Pay、LINE Pay、Pay B、支払秘書の4アプリを導入予定としている。支払いまでの流れに多少違いはあるが、専用

アプリのインストールと利用登録を行い、納付書に印刷されているコンビニ収納用バーコードを読み取ることで納付できる。キャッシュレス決済の導入で、時間がない、失念していたなどのケースが減少し、収納率の向上が期待されると考えている。

育児の不安を みんなで解決！

Q



角野仁美議員



愛育班で みんなあつまれ！

多くの虐待事件が発生する昨今、行政の対応が重要視されている。県外から移り住んだ私は、市の運営するウエルカム広場や母子愛育班など、赤ちゃん連れで集まれる場をきっかけに交友関係が生まれ、大きな助けになった。子育て中の保護者が孤立しないために、市が提供している場や相談窓口は。



A

健康福祉部長 本市では健康課ハッピーサポート丸亀とNPO法人グランマール

あだあじおが連携して相談支援を行う子育て支援総合相談窓口まる育サポートを設置し、妊娠中から18歳までの子育て家庭に対する切れ目ない支援に努めて

いる。また、毎月1回、コミュニティセンターでウエルカム広場を開催。保育所、子育て広場等地域子育て支援拠点施設などでは、児童虐待の未然防止に向け、母子愛育班や母子保健推進員、主任児童委員などが見守り活動も行っている。

指定避難所に 蓄電池の導入を

Q



廣田勝也議員



定置型独立電源

災害時等、本市の指定避難所の停電対策には、発電機が使われている。発電機は、利用時の騒音、排気ガスの発生など、夜間や室内での使用に対応しにくい面があるが、太陽光発電等による再生可能エネルギーや蓄電池にはそれらの心配がないうえ、燃料の備蓄や定期的な動作確認の必要もない。避難所に蓄電池を導入してはどうか。



A

市長公室長 本市の指定避難所では、すでに2か所

所で再生可能エネルギーおよび蓄電池を設置しており、今後新たに改築する学校やコミュニティセンター等でも、順次、太陽光パネル等再生可能エネルギーの導入を進めていく予定であ

る。しかし、多くの避難者を受け入れる施設に対応可能な大容量蓄電池の導入やパネルの増設、増設場所確保などの課題に加え、保守費用等高額な経費も見込まれるため、蓄電池導入に関しては、引き続き検討していきたい。

歩きたくなる まちなかへ



山本直久議員



人でにぎわうウォーターフロント開発を

Q

歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりに取り組む協定が締結されたが、具体的にどのような協定か。また、西汐入川周辺の浸水対策として、より排水能力の高いポンプ設備を整備するとあるが、その経緯は。



A

市長 市と四国化成工業が連携協力し、にぎわいあるまちづくりを継続発展させていく協定に調印したものである。具体的な内容としては、駅北エリアにパークレットを設置し、歩行者空間の新たな人流やにぎわいの創出につなげる社会実験を行うなど、有効な取り組みを進めていく。

A

都市整備部長 市は、これまでにも西汐入川周辺地域の排水対策に取り組んできたが、近年の全国的な豪雨災害の激甚化を見据え、予定していた段階的なポンプ場整備を繰り上げて進める方針に変更したものである。

ウイズコロナ 小児のワクチンと休業助成



渡邊一馬議員



小学校休業等対応助成金

Q

5歳から11歳の子どもを対象としたワクチン接種の今後の医療体制と接種スケジュールは。また、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業、休園などで保護者が仕事を休まなければならない場合の国の支援制度について、周知は。



A

市長 小児のワクチン接種種は、市内小児科医療機関での個別接種と大型接種会場での小児接種枠による集団接種の体制を予定している。具体的には、3月2日から接種券送付、3月11日から予約開始、3月19日から接種開始の予定で進めている。

A

教育長 小学校休業等対応助成金は、これまでに2回、学校を通じて保護者に周知している。今後は、事業者や市民に対して関係課と連携して働きかけを行うとともに、保護者への確実な周知のため、直接リーフレット等を再配布するなど検討していく。

フェーズフリー 構えない備えを

Q



香川 勝 議員

市は、避難所の整備や食料品の備蓄、地域での防災訓練など、これまで市民とともに様々な施策に数多く取り組んできたと思うが、日常時と非常時と2つの局面を分けるのではないフェーズフリーという考えについて、市の認識は。

A

市長 いつもの生活がある日常時と、災害が発生したときの非常時を分けて、ふだんから利用しているものやサービスを、もしもの時にも役立つよう意識して取り組むことで、ふだんから災害に備えて生活する考え方と認識している。災害時や災害後に自らの命を



備蓄品の使用期限 切れていませんか？



守り、また、家族や周りの人も守っていくことにつながる。から、災害時の備蓄に対する大きな選択肢となるものと考え。フェーズフリーの考えを防災上の重要な手法とし、市民への周知、啓発等にも取り組んでいく。

住み慣れたまちで スムーズな移動を

Q



守家英明 議員

自動車運転免許自主返納の推奨に伴い、高齢者の移動支援は地域の重要課題となっている。本市でも、今年度からは市内7地区のコミュニティで、互助による輸送を行っている。この事業の充実拡大のための施策は。

A

市長 この事業は、利用者の生活の質の向上はもとより、地域住民との交流による双方の生きがい創出、生活実態の把握や見守りにもつながっており、本市の目指す地域住民の互助による地域づくりにも効果的であると捉えている。事業継続の課題である人材確保につい



いつもの地域で 気楽に外出！



ては、定期的に実施コミュニティの関係者連絡会を開催し、地域とともに検討していく。また、実施コミュニティの拡大についても、生活支援体制の整備など、高齢者のニーズに応じた取り組みの中で周知を行い、事業の充実を図っていく。

プラスチックの 再資源化に向けて

Q



大西 浩 議員

海洋ごみ問題とプラスチック処理は世界的な課題となっている。国は「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を制定し、2022年4月から施行としているが、施行後、市は分別収集、再商品化にどう対応していくのか。



クリントピア丸亀での分別作業

A

市長 4月以降、家庭から出るプラスチックごみの一括回収には市区町村の努力義務が課せられ、さまざまなプラスチック資源を分別収集、再商品化するため、分別区分の変更や収集処理体制の見直し、ストックヤードの整備、処理費用

の負担増などとともに、市民の理解と協力が必要となる。本市では、県や県内市町等で構成されるブロック会議での情報共有や全国的な取組事例等の調査研究を行い、連携を行いながら、最適な方向性を見いだしていく。



安心・安全な 新丸亀市民会館

Q



水本徹雄議員

車座集会や文化振興審議会でも、新市民会館を免震工法で建設してはどうかとの質問があった。免震、制震、耐震の3工法のうち、どの工法を採用することが利用者の安全・安心確保につながる対策となるのか。南海トラフ地震を見据え、地震対策を万全にしていける必要がある。新市民会館の建設に関し、市の考えは。



市民会館建設予定地

A

産業文化部長 利用者の命と体を守ることは、公施設設置者として最も重要な責務であると認識している。市の公施設の耐震安全性は、国土交通省が示す基準に基づいて整備を進めているが、免震工法を採用する施設とは「人命の

安全確保に加えて十分な機能確保が図れるもの」とされているため、市庁舎や消防庁舎に採用している。一方、市民会館は防災拠点とならない官庁施設であるため、利用者の安全性を担保し、一時的避難場所となるものとして整備を進めるものと考えている。



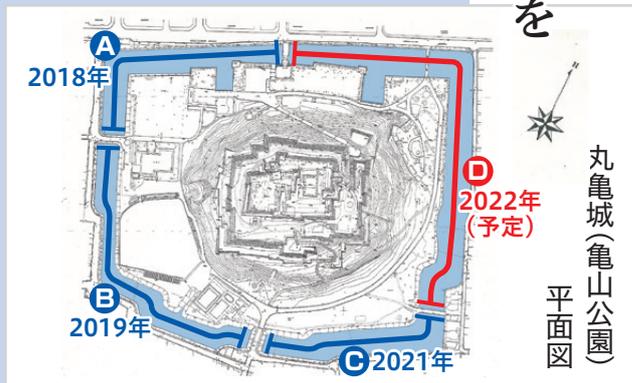
A 教育部長 天日干しの開始時期前倒しは、お堀の水質改善には有効と思われるが、周辺へのアオコなどによる影響も考えられるため、検討が必要と考える。また、令和4年度は、東側土橋から大手門東側

までの区画で作業を計画しているが、東側ではお堀の底が排水口よりも低いことが判明したため、お堀北東隅を境に分割することで作業が容易になると考えられる。今後は、それらを踏まえ、作業内容を計画していく。

Q 丸亀城では、お堀を4分割し、順次かい掘りを行っている。2月末まで天日干しを行っているが、降水量の増加等により計画どおりに進まないケースが多い。乾燥が十分でないと効果が薄いと考えられるが、天日干しの時期を前倒しすることはできないか。また、図Dの区画をさらに細分化し、北東部分を重点的に行うことも有効と考えるが、令和4年度の計画は。



神田泰孝議員



計画的で効率の良い お堀整備を

時期を変え 効率的なお堀整備を

丸亀城(亀山公園)
平面図

議会の動き

1・2・3月

1月

- 6日 広報広聴委員会
各派会長会
- 11日 議会運営委員会
- 19日 広報広聴委員会
- 21日 本会議
全員協議会
教育民生委員会協議会
各派会長会
- 28日 議会運営委員会

2月

- 4日 都市環境委員会協議会
教育民生委員会協議会
- 10日 総務委員会協議会
- 16日 市民会館整備特別委員会
各派会長会
総務委員会協議会
- 18日 議会運営委員会
- 21日 全員協議会
- 28日 本会議
予算特別委員会

3月

- 2日 本会議
- 3日 議会運営委員会
本会議
議会運営委員会
- 4日 本会議
広報広聴委員会
- 7日 本会議
全員協議会
- 9日 都市環境委員会
都市環境委員会協議会
教育民生委員会
- 10日 総務委員会
- 11、14~17日 予算特別委員会
- 18日 市民会館整備特別委員会
- 25日 本会議
全員協議会
- 28日 広報広聴委員会
- 31日 議会運営委員会
各派会長会

委員会審査

委員会審査・質疑



各委員会の議案審査では、様々な質疑応答がありましたので、抜粋して掲載します。

都市環境委員会

■ 審査した議案

議案第37～41号

主な質疑

Q 委員 市民体育館サブアリーナの冷暖房使用料について、設定金額の根拠は。

A 市民生活部 設置する空調機器の性能や、近隣と同規模施設等を参考に、使用料を設定したものである。

審査結果

議案はすべて原案可決。

教育民生委員会

■ 審査した議案

議案第36号
議案第42～45号

主な質疑

Q 委員 保育士修学資金等貸付条例を制定するにあたり、新たに入学資金貸付を追加する理由と周知方法は。

A 教育部 市内で働く保育士を増やすことが目的であるため、他市より魅力ある条件を提示するものである。県内や近隣の保育士養成施設に制度を知ってもらい、実習生や現職の保育士を通じた制度の周知にも努めていきたい。

審査結果

議案はすべて原案可決。

総務委員会

■ 審査した議案等

議案第26～35号
議案第46～50号

主な質疑

Q 委員 職員の育児休業等に関する条例の一部改正で、新たに追加される勤務環境の整備に関する措置とは、どのようなものか。

A 市長公室 今回の改正は、現在、実施している研修会や相談等を今後さらに充実していくため、育児休業に係る研修の実施、相談体制の整備など、勤務環境の整備に関する措置を追加するものである。

審査結果

議案はすべて原案可決。

質疑

子育て世帯給付金
養育者への支給を

Q

■ 中谷議員

子育て世帯臨時特別給付金が届かない、基準日以降に離婚した親子に対し、独自支援を行う自治体もある。本市としての対応は。

■ 健康福祉部長

基準日以降に離婚したことで、両親どちらが給付金の申請をするか迷っている人、離婚に向けて話し合いを進めている人等には、現に児童を養育している保護者が給付金を受給できるよう申請の案内をしている。給付金の趣旨に沿った運用に努めたい。

ロシア連邦によるウクライナ侵攻に抗議し、戦争に反対する決議

世界の恒久平和を実現することは、人類共通の願いであり、今日、特にその思いを強くするものである。

去る2月24日、ロシア連邦は、隣国のウクライナに軍事侵攻した。

今回の行動は、他国の領土を武力により侵略し、一方的に現状を変更しようとするもので、国家の主権を踏みにじるものである。武力の行使を禁じる国際法に違反し、国連憲章に反することは言うまでもなく、国際社会の秩序を根幹から揺るがしかねない極めて深刻な事態である。

いかなる問題であっても、武力を用いた解決は許されるものではなく、戦争は断じて認められない。丸亀市議会は、今回のロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に嚴重に抗議し、武力行使に強く反対するものである。

また、日本政府におかれては、ロシア連邦政府に対し、即時攻撃の停止と部隊の撤収に向け、特段の努力を払われるよう強く要請するものである。以上、決議する。

令和4年3月3日

丸亀市議会

内閣総理大臣 岸田文雄様
外務大臣 林 芳正様
駐日ロシア連邦大使
ミハイル・ユーリエヴィチ・ガルージン様

- 日にち 2月14日(月)
- 講師 中塚啓二郎公務開発部長
東京海上日動火災保険(株)
- 内容 SDGs (行動の時)



民間団体や地方自治体、官民連携の取り組みなどを
知り、本市が今目指すべき目標と実現のための行動
を、我が事として、考えるきっかけになりました。

議員研修

- 日にち 2月28日(月)
3月10日(木)
- 内容 南海トラフ地震発災時
初動対処訓練



今後30年以内に発生する確率が70～80%と言われ
る南海トラフ地震。その被害想定と対策に見識を深め、
発災時の初動対処など意識の醸成に努めました。

令和4年3月定例会 賛否が分かれた議案等の審議結果

議員名		議案名・審議結果																							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
		渡邊 一馬(市民クラブ)	守家 英明(市民クラブ)	角野 仁美(市民クラブ)	中谷真裕美(会派無所属)	東 由美(志政会)	神田 泰孝(会派無所属)	水本 徹雄(会派無所属)	岡田 剛(会派無所属)	廣田 勝也(志政会)	武田 孝三(志政会)	香川 勝(志政会)	川田 匡文(志政会)	横川 重行(市民クラブ)	加藤 正員(市民クラブ)	大西 浩(市民クラブ)	竹田 英司(真誠会)	三宅 真弓(真誠会)	多田 光廣(真誠会)	福部 正人(公明党)	内田 俊英(公明党)	真鍋 順徳(志政会)	横田 隼人(志政会)	山本 直久(志政会)	大前 誠治(志政会)
議案第17号	令和4年度一般会計予算	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和4年度モーターボート競走事業会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	市職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	敬老祝金支給条例の一部改正	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	下水道条例の一部改正	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は除斥または欠席した者です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

討論

《反対》

理由

・廃止した制度を安易に復活させるべきではない。
・公共下水道使用料は改正時期の見直しを。

横川 重行

《反対》

理由

・国の処遇改善やコロナ禍での職員の負担増を無視した一時金の減額に反対する。

横田 隼人

《賛成》

理由

・日本古来の節目である傘寿に長寿を祝うことに問題はない。
・コロナ禍の厳しい財政状況の中、公共下水道使用料の改正はやむを得ない。

※予算案に関する討論はp2に掲載。

会派の異動

4月7日付けで志政会と真誠会が合併し、竹田英司議員、三宅真弓議員、多田光廣議員の所属が、志政会に変更になりました。

編集後記

「毎朝見守りありがとうございました。ございました。」

小学校の卒業式の日朝、最後の登校となる六年生の女子児童が言った言葉です。この子は将来どんな大人になるのだろうか。今から楽しみでなりません。この子どもたちの未来の為に全力を尽くそうと改めて心に誓った瞬間でした。

一方、この原稿を書いている今、ウクライナでは多くの子どもたちが命の危険に晒されています。他国の独裁者によって、尊い未来が奪われているのです。政治の怖さを垣間見たような気がします。

幸いにも、私たちは自由に公正な選挙に参加する権利を持っています。その権利を無駄にさせない為に、この議会だよりを通じて「丸亀の政治」をしっかり発信していきたいと思えます。

広報広聴委員 廣田 勝也